とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1152
施設名	中目黒ちとせ保育園
施設所在地	目黒区上目黒2-10-9
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

音に関わるもの

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
普段のリトミック等でも音に興味をもつ姿が見られたので、色んな楽器や音に触れ合っていき、興味を拡げてほしい。

２．活動スケジュール

第１回　　ミニコンサート
第２回　　スネアドラムに触れ合おう！

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
・すくわくの活動を取り組むにあたり、PCを購入
・外部委託で、ミニコンサートという場を設けて演奏。「バイオリン」や「カホン」、「スネア」などを準備してもらった。
・幼児クラスに触れ合ってもらうため、スネアドラム、バチ、を準備。
（鈴、タンバリン、カスタネット等も準備）

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

・ミニコンサートでは、楽器の音を聞いた。（スネア、カホン、鍵盤ハーモニカ、パンデイロ、ソロバンフィーチャリング）また、手拍子レクチャーや指揮者体験、楽器体験などをすることで楽器に興味をもつ姿が見られた。
・楽器に触れ合う場を作るため、ミニコンサートごっこを行い、スネアドラムという新しい楽器に触れながら色んな楽器の音を楽しんだ。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
色んな楽器の音に興味を示す姿が見られた。また、楽器に触れることで楽しんだり、「きれいな音だった」等の声があがっていた。また、実際にスネアドラムを叩くという形で楽器に触れ合うことで子どもたちも「叩く強さで音の大きさが変わるね」と子ども同士で話し合う姿が見られた。

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

楽器から出る音の高低よりも強弱の方が理解しやすいということがわかった。
単純に叩くと音が出るスネアドラム等で子どもたちの興味を引き出せると感じ、スネアドラムを購入。どれぐらいの強さで叩くと、どれぐらいの音の大きさになるかなどを子ども同士で話し合う姿があり、自身の力の入れ具合で音に変化が起こることに興味を示す姿がみられた。スネアドラムを叩く際には、「優しく叩いても音がなるよ」「ミニコンサートをやってみたい」等の声も聞かれた。